

極秘

陸軍省 陸軍普受符 五五〇三

討經主第二四七號

至急

出納官吏保管金廿失ノ件報告

昭和十七年八月十八日 第二十一師團長 田中久一

陸軍大臣 東條 英機 殿

第二十一師團海防野戰倉庫分任官陸軍主計少尉金田
恒二保管官中ノ官金別冊ノ通亡失セシニ付陸軍會計
事務規程第九十五條ニ依リ報告ス



軍令部 陸軍司令部 經由 〇三十五号



別冊

出納官吏保管金亡失ノ件報告(通報)書

第二十一師團

一. 出納官吏ノ所屬官氏名

南方軍經理部今任資金前渡官吏陸軍主計中尉小形直司所屬
第二十一師團經理部今任官 陸軍主計中尉佐藤次穂所屬
第二十一師團海防野戰倉庫今任官陸軍主計少尉金田恒二

二. 被害ノ日時及場所

昭和十七年八月九日十三時三十五分
佛領印度支那東京州海防市第二十一師團海防野戰倉庫

三. 被害金額

臨時軍事費 一比貨壹千參百七拾五比弗拾四仙

(邦貨換算額壹千參百七拾五圓拾四錢)

四 被害、原因タル事實ノ狀況

八月九日十三時三十分頃國籍不明機ハ機廣安(海防東北
 方約十五軒)方向ヨリ海防上空ニ飛來シ「クワカム」河
 ニ沿ヒ海防埠頭軍事施設ニ對シ爆撃ノ際不幸野戰
 倉庫ノ第一倉庫(地積セロロ平方米ニシテ内ニ事
 務室ヲ有ス)ハ直撃ヲ受テ(破壊彈、燒夷彈
 六七發ト推定スルモ不詳)ノ命中ニ依リ一瞬ニシテ
 火災ヲ生シ全燒セリ

當時下士官一名ヲ事務室監視ノ爲ニ設置シ全員
 倉庫ノタメ兵舎(事務室ヨリ五十米)ニ在リテ食
 餌中突如トシテ聽ク飛行機ノ爆音ト共ニ忽チ起ル
 爆彈ノ炸裂ヲ耳ニシ敵機ニヨル空襲ナルヲ察知シ倉
 庫長ハ直チニ全員ヲシテ部署ニ就カシムベク倉庫
 現場ニ急派セシメタリ。一方ハ任官金田少尉ハ下

士官一ト共ニ金櫃ヲ案ニ之カ撤去ノ爲事致ラ室前ニ馳
 セ参ス時既ニ事務室ハ爆彈ノ直撃ヲ受ケ其ノ屋根崩
 壊シ入口窓共ニ壁体ノ例壊ニ依リ封鎖セラレ室内ハ燒
 夷彈ノ命中ニ依リ一面ニ火災ヲ生シ火勢物凄ク最早ヤ
 接近ヲ許サス。又被害直前事務室ニ在リタル下士官
 ハ爆彈ノ炸裂ヲ聽クヤ事能ク只ナラサルヲ感受シ吐嗟
 ニ先ツ今任官ノ机上ニ在リタル手提金庫及非常持出
 箱ヲ鷲掴ミトシ身ヲ以テ屋外ニ飛ビ出シ之ヲ安全
 地帯ニ收容直チニ引返シ金櫃行李ヲ救出セントセ
 シテ前記ノ如ク事務室ハ瞬時ニシテ例壊猛火ニ包マ
 レアリテ手ヲ施スニ術ナク撤去ヲ断念スルノ止ムナキニ
 至ル然レ共各種ノ手段ヲ盡シ金櫃附近ノ消火ニ努メシ
 カ折悪シク水道ハ断水時ナリシヲ以テ意ノ如クナラス
 倉庫ト共ニ金櫃モ亦燒失スルニ至レリ。

當時河内ヨリ急派セシ師團經理部員元島主計
大尉立會ノ許ニ鎮火後之ヲ調査スルニ金櫃ハ爆碎セラレ
收容現金悉ク焼損シ前記ノ通亡失セシコトヲ確認
セリ

五、被害事實實弁見ノ動機

金櫃行李ハ當日支拂ノ爲事務室ニ持込ニ使用中
ニ在リテ内支拂準備用トシテ現金一部ヲ手提金
庫ニ合藏シ合在官一時離室ノ爲下士官ヲシテ之
ヲ監視セシメアリシカ本爆撃手ニ際ニ手提金庫ハ
辛クニテ取出シタルモ金櫃行李ハ焼失スルニ至レルヲ
以テ鎮火後現場ニ於テ調査ノ結果前記ノ通亡
失セシ事ヲ確認セリ

六、被害ニ對スル處置

百方手段ヲ盡シテ之ヲ消火ニ努メタルモ事態ノ推

遺憾ナリ
移餘リニ急ニシテ遂ニ金櫃ヲ搬出シ能ハザリシハ甚

師團經理部長ハ陸軍會計事務規程第九十五條ニ
基キ直チニ検査員ヲ命ジ帳簿金櫃ヲ検査セシ
メタリ、検査書別紙ノ如シ

七 平素ニ於ケル金櫃管守ノ方法
別冊金櫃管守規定ニ依リ實施ニアリ

八 責任者ニ對スル處置

金櫃ノ管守ハ確實ニ實施セラレテ且ツ最良
ニ止ムヲ得ザリシモノト認メ處分ハ實施ニアラス

九 其他必要ナル事項

一 被害前日本野戰倉庫勤務兵ノ交代アリテ時
モ新タニ勤務ニ就クヨトトナリタル兵ノ宿舎收容ノ
爲多忙、折柄西貢ヨリノ運送糧秣ノ卸下ニ任セシム

ル等兵員、都合ニ依リ日常盡入食時ニ名、監視兵ヲ
事務室ニ留メアリシニ當日ハ下士官一名ヲ監視ニ從
セシメタリ、

又空襲警戒報ハ爆撃後ニ發令セラレタル為事前
ノ處置ヲ講スルノ旨ナク被服糧秣等全倉庫ニ亘リ
被害ヲ蒙レリ、

3. 七次金、算定ハ金櫃檢定書ニ記載ノ通ナルモ参考

ノ為揚記ス即チ左ノ如シ
イ) 七月分臨時軍事費受拂計算書殘額
二、四〇六、四二一〇

四) 八月日以降被害當日迄、支拂濟未決算額
二、四二四、七九〇

ハ) 差引被害直前、殘額

~~二、四二四、七九〇~~

一、八九八、四二〇

残額内訳

残存現金	一七、六〇六、二八〇
亡失金	一、三七五、一四〇

右のノ支拂未決算證憑書及四ノ残存現金ノ被害ヲ
免レルハ手提金庫ヲ持出シ得タルニ依ルモニシテ
亡失人五人金櫃行李ニ收藏ノ人カトス

一〇. 免責判決受取書

別紙封包之片ニ一節ノ字ノ通令斗控書院長ニ提出ス

昭和七年八月九日
 陸軍主計大尉 元島茂松
 陸軍主計大尉 元島茂松

昭和七年八月九日
 倉庫野防團第十一師
 金櫃検査帳

借	科目	貸
	人件費	1,220/00
142,600	除 費(一般除費)	
	備 給(一般備給)	
	諸 手 常	
	臨時家族手当	
202,500	物件費	19,686/10
	備品費(一般備品)	
742,990	郵便電信費	
	被服費	
	兵器費	
	馬車費	
45,000	燃料費	
128,700	薪 費(一般薪費)	
	薪 費(臨時薪費)	
	薪 費(臨時薪費)	
	土地建物借上料	
	軍用鳩諸費	
	軍用犬諸費	
	救恤及宣慰費	
	一時賜金	
	退 營 賜 金	
	日本銀行	
18,981,420	單 票 貸(仕入)	
21,406,210	計	21,406,210

出納官吏第三師團野防倉庫主任官陸軍主計大尉 元島茂松
 本帳定書通貨金類ノ整理簿上ノ金額ニシテ古失金ヲ包含ス
 其内詳左ノ通トス
 現金在高 一七、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
 古失金 一、三三五、五五五、〇〇〇

0170

1210

別冊

第十一師團海防野戰倉庫金櫃管守規定



0172

第三師團防野戰倉庫金櫃管守規定本冊
通定公

昭和七年八月一日

第三師團經理部長 三浦信一

第三師團海防野戰倉庫金櫃管守規定

第一條 本規定ハ戰時經理部勅令第五十三ニ依リ第三師團海防野戰倉庫出納官吏ノ金櫃管守ノ方法ニ關シ規定ス

第二條 前渡資金及其他ノ公金ハ之ヲ金櫃行李(駐留間小口支拂等場合ニ於テ出納官吏自身ニ監守スル場合ニ手提金庫ヲ用ヒルコトヲ得)ニ收藏シ出納官吏管守ノ責ニ任ズルモノトス

第三條 金櫃ニ管守者ノ官氏名ヲ表示シ又別ニ出納官吏寫眞ヲ衛兵所ニ保管シ行動間ニ在リテハ適宜布片ヲ附シ關係者ノミニ認識ニ得ル如クナシ置クモノトス

第四條 金櫃開閉ハ出納官吏自ラ之ヲ行ヒ其都度出納

官吏ニ於テ封印ヲ為スモトス

第五條 金櫃行李ハ宿營及駐留間ニ在リテ衛兵所ニ置

キ衛兵司令ヲシテ監守セシムルモトス

第六條 行軍間ニ在リテ車輛又ハ馱馬ニ積載シテ常ニ護衛

兵ニ名以上ヲ附シ行李長等ヲシテ監守セシメ鐵道又ハ船

翰送間ニ在リテ翰送指揮官ノ定ムル處ニ從テ所要ノ

監視兵ヲ附シ監守セシムルモトス

第七條 前二條以外場合ニ於テハ常ニ二名以上ノ監視員ノ下

ニ監視セシムル如ク處置スルモトス

出納官吏事務室ニ於テ金櫃行李（手提金庫共）使用

中他出スルノ止ムナキ場合ニ於テハ確實ニ監視者ヲ定メ置

クモトス

第拾條 金櫃行李ヲ携行セザルガ又ハ衛兵所ヲ設置セザル場合
或ハ出納官吏ノ手許ニ置ク必要ナル場合ニ於テハ自ラ之ヲ
保管スルモノトス

但シ右ノ場合ト雖モ金櫃行李ニ對シテハ護衛ヲ附シ監守ノ

萬金ヲ期スルモノトス

第九條 金櫃監守者ハ出納官吏以外ノ者ニ金櫃行李ヲ交付

シ又ハ之カ開閉ヲ爲サレムヘカラス

第八條 金櫃監守者ハ常ニ金櫃ノ外側其他異常ノ有無ニ注

意シ若シ異常ヲ認メタルトキハ現況ノ儘速ニ出納官吏ニ通

報スルモノトス

第七條 監守者ハ火災其他非常ノ場合ニ際シテハ所要ニ應ジ隨

機ニ處置ヲナシタル後速ニ倉庫長並ニ出納官吏ニ通報ス

モノトス

第十條 金櫃授受の確實は且ツ其の責任の限界ヲ明瞭ナシ
ル爲メ左記ニ依リ別紙様式ノ金櫃授受簿及金櫃
受領證ヲ使用スモノトス

記

一 海防駐留中平常場合於テ別紙様式第一授受簿ヲ
使用スルモノトス

二 作戦行動間等於テ上下番衛兵司令又ハ衛兵司令ト行李
長相互間於テ授受別紙様式第一授受簿ニ依ル外授
領者ニ交付者ニ對シ別紙様式第二授領證ヲ交付スモノトス
三 受領者ハ引継受後直ニ出納官吏ノ許可リ授受シヨリ
通報シ金櫃授受簿ニ出納官吏ノ認印ヲ受テ金櫃ト共
ニ之ヲ保管スルモノトス

以上

昭和十七年八月一日

第 1 號	金櫃受領證		第 1 號	受領証控
年 月 日	昭和十七年八月一日 15時15分		昭和十七年八月一日 15時15分	
受領場所	於海防 何 々		何個 皇 號	
受領個數	交付者	受領者	交付者	受領者
金櫃行李何個 至第 號	陸軍軍曹 何某殿 下番衛兵司令	陸軍軍曹 何某 印 上番衛兵司令(又行李長)	陸軍軍曹 何某殿 下番衛兵司令	陸軍軍曹 何 某 上番衛兵司令

受領者 印

切取線

0178

討經主第五二號

出納官吏亡失金免責要求書提出ノ件報告

昭和七年八月七日

第三師團經理部長三浦信一

會計検査院長河本文一殿

第三師團海防野戰倉庫分任官陸軍主計少尉金田恒ニ係
中、臨時軍事費亡失金ニ對スル免責要求書別冊ノ通提出スル
ニ付責任解除相成度

免責要求書

南方軍經理部令債資金前渡長
陸軍寺尉少杉直司所長
第五師團經理部令債官
陸軍寺尉佐藤徳所長
第五師團防務倉庫令債
陸軍寺尉倉田恒二

昭和十七年七月十七日

會計検査院長河本文一殿

當野戰倉庫於昭和十七年八月九日十三時三十五分敵機乘襲
襲依り爆撃ヲ受ケ第一倉庫全燒ノ際保管中ノ前渡資金
金七失セシ事故ニ関シ其ノ事情左記ノ通ニ府責任解除ノ判決
相成度

左記

一被害金額

臨時軍事費

一比貨壹千參百七拾五比弗拾四仙

(邦貨換算額壹千參百七拾五圓拾四錢)

二被害日時及場所

八日時

昭和十七年八月九日十三時三十五分

又場所

佛領印度支那東京州海防市第三師團海防野戰倉庫

三被害原因及事實狀況

八月九日十三時三十分頃國籍不明機八機廣安(海防東北方約五里)方向ヨリ海防上空ニ飛來シ、クワカ河ニ沿ヒ海防埠頭軍事施設ニ對シ爆撃際不幸野戰倉庫第一倉庫(地積七〇〇平方米)ニテ内ニ事務室ヲ有ス。直撃彈數條(破壊彈燒夷彈六七條ト

推定スルモ不詳ノ命中ニ依リ一瞬ニシテ火災ヲ生シ全焼セリ
 當時下士官一名ヲ事務室監視ノ爲殘置シ全員食食シタメ兵舎
 (事務室ヨリ五十米)ニ在リテ食餌中突如トシテ聴ク飛行機爆
 音ト共ニ忽ケ起リ爆彈炸裂ク耳ニ敵機ニヨル空襲ナルヲ察
 知シ倉庫長ハ直ニ全員ヲテテ部員ニ就カレハク倉庫現場ニ急
 張セシメタリ。一方分任官倉庫分尉ハ下士官ト共ニ金櫃ヲ索レ之
 カ撤出シ急事務室前ニ馳セ参ス時既ニ事務室ハ爆彈ノ直撃
 ヲ受ケ其屋根崩壊シ入口窓共ニ塵体ノ倒壊ニ依リ封鎖セラレ
 室内ハ焼夷彈ノ命中ニ依リ一面ニ火災ヲ生シ火勢物凄ク最早ニ
 接近ヲ許サス又被害直前事務室ニ在リタル下士官ハ爆彈炸
 裂ヲ聴クヤ事態ノ又チナルヲ感受シ吐嗟ニ先ス分任官ノ机トニ
 在リタル手提金庫及非常持出箱ヲ就鳥摺トシ身ヲ以テ屋外

ニ飛出シ之ヲ安全地帯ニ收容直ケ引込シ金櫃行李ヲ救出セ
 ントセモ前記ノ如ク事務室ハ瞬時ニテ倒壊猛火ニ包マレアリテ
 手ヲ施スニ術ヲ多搬出ヲ断念スルノ止メナキニ至ル然レ共各種ノ手段
 ヲ盡シ金櫃附近ノ消火ニ努メシカ折悪シク水道ハ断水時ナリレ
 ラ以テ意ノ如クナラズ倉庫ト共ニ金櫃モ亦焼失スルニ至レリ

當時河内ヨリ急派セシ師團經理部員元島主計大尉立會ノ
 許ニ鎮火後之ヲ調査スルニ金櫃ハ爆碎セラレ收容現金悉ク焼
 損シ前記ノ通亡矢セシトテラ確認セリ

四被害金額確認

金櫃行李ハ當日支拂ノ爲事務室ニ持込ミ使用中アリテ内支
 拂準備用トシテ現金ノ一部ヲ手提金庫ニ分藏シ分任官一時離
 室ノ爲下士官ヲシテ之ヲ監視セシメアリカ本爆撃ノ際ニ手提

金庫ハ辛ク取出シタル金櫃行李ハ燒失スルニ至レルヲ以テ鎮
 火後現場ニ於テ調査ノ結果前記ノ通ニ失セシ事ヲ確認セリ
 當日師團經理部長ヨリ派遣セラレタル検査員ニ依リ陸軍會計
 事務規程第九十五條ニ基テ帳簿金櫃ノ検査ヲ受ケタリ檢定
 書別紙ノ如シ

五其他参考トナルヘキ事項

ス被害前日本野戰倉庫勤務兵ノ交代アリテ時恰モ新ク勤
 務ニ就クアトナリタル兵ノ宿舍收容ノ爲多忙ノ折極西貢ヨリ
 ノ追送糧秣知下ニ任セシムル等兵員都合依リ日常昼食
 時ニ名ノ監視兵ヲ事務方室ニ留メタリシニ當日ハ下士官一名ヲ
 監視ニ任セシメタリ

又空襲被害報ハ爆撃後ニ察令セラレタル爲事前ニ處置ヲ講

正ノ皇方被服糧秣等金倉庫ニ且リ被害ヲ蒙リ

三亡失金算定ノ金櫃檢定書ニ記載通ナルモ参考ノ爲掲記

ス即テ左ノ如シ

(イ) 七月分臨時軍事費受拂計算書殘額

二、四〇六、二一〇

(ロ) 八月日以降被害當日迄ノ支拂有未決算額

二、四二四、七九〇

(ハ) 差引被害直前殘額

一、八九八、四二〇

殘額内款

殘存現金 一、七六六、二八〇

亡失金 一、三七五、一四〇

右ノ支拂未決算證憑書及(ロ)殘存現金ノ被害ヲ免

ハタテ手提金庫ヲ持出シ得タルモノニテ亡失金ハ金
櫃行李ニ收藏ノ介トス

六関係書類トシテ次ノ如ク添付ス

人事改葬生當時ノ受拂計算書別紙ノ通
又部隊ノ金櫃管守規定別冊ノ通

本書ノ通事實ニ相違ナキコトヲ證明ス

昭和十七年八月十八日 第三師團團長三浦信一

金櫃貯金書及金櫃管守規定ハ封筒ニシテ四七号
封付ノカト同一ニ付本書ハ封付有貯ス

昭和17年8月分臨時軍費費目計算書					第二十一師團海防野戦倉庫分任官 陸軍主計少尉 金田恒三				
領 収 額					支 出 額				
前月繰越	本月増収	移算後	移算前	計	臨時軍費	前月繰越	本月増収	計	繰越
					人件費				
					俸給	791300		791300	
					旅費	324200	142600	466800	
					手当	164400		164400	
3000000				3000000	計	1279900	142600	1422500	1577500
					物	219000	203500	420500	
					食糧	13962420	743990	14706410	
					被服	332150		332150	
					雑費	678380		678380	
					計	2449410	45000	2494410	
					貸付	1927250	1289700	3216950	
					計	330000		330000	
11581820				11581820	計	41876710	2287190	44163900	12403920
					計	42175610	2247790	44423400	18221420

本書と現金出納簿とを對照調査スルニ悉皆符合スルコトヲ證明ス 昭和17年8月7日 陸軍主計大尉 永島淺松

備考 1.残額1,878,142.00ハ比率貸トス 2.残額中ニ七先金1,325,140.90有ル

昭和17年度
第2号

昭和17年8月分臨時軍事費支拂計算書附屬細別明細書

第21師團海防野戦隊司令部
臨時支拂金目録

金額		收		額		臨時軍事費		支		拂		金額	
前月繰り越し	本月繰り越し	移算	移算	計	臨時軍事費	前月繰り越し	本月繰り越し	前月繰り越し	本月繰り越し	計	計	計	計
					人件費	一般旅費	324200	142600				466800	
					人件費	指定旅費							
					人件費	臨時給食							
					人件費	臨時給食							
					人件費	計	324200	142600				466800	
					物費	一般備給	164400	0				164400	
					物費	指定備給							
					物費	計	164400	0				164400	
					物費	一般給食	217000	203500				420500	
					物費	指定給食							
					物費	計	217000	203500				420500	
					物費	築造費	1222350	1287700				1211050	
					物費	築造費							
					物費	計	1222350	1287700				1211050	
					物費	一般給食	330000	0				330000	
					物費	指定給食							
					物費	計	330000	0				330000	
					合計	合計	1222350	1287700				2042250	

備考

計原額金スレニ此額符合スルヲ證明ス

極秘

討經主第二五〇號

昭和七年八月拾八日

昭和七年八月十六日

陸軍省

陸軍省 17.9.15 陸軍省 17.9.15 陸軍省 17.9.15

共有金保管委員報告

昭和拾七年八月拾八日

第二十一師團長田中久一

陸軍大臣東條英機殿

第二十一師團海防野戰倉庫共有金保管委員陸軍

主計少尉金田恒二保管中ノ共有金別冊ノ通上失

セニ付報告ス

陸軍省 17.9.17 年 前 主計課

陸軍省 17.9.18 監査課

(新谷城・原東)

別冊

共有金保管委員保管金(酒保)亡失ノ件報告(通報)

第二十一師團

一、共有金保管委員所屬官氏名

第二十一師團海防野戰倉庫

共有金保管委員陸軍主計少尉金田恒三

二、被害日時及場所

昭和十七年八月九日十三時三十五分

佛領印度支那東京州海防市第三師團海防野戰倉庫

三、被害金額

金四千五百八拾五比弗四拾毫仙

(邦貨換算額四千五百八拾五圓四拾毫錢)

四、被害ノ原因タル事實ノ狀況

八月九日十三時三十分頃國籍不明機八機廣安(海防東北)

方約十五軒ノ方向ヨリ海防上空飛來シ、クワム河ニ沿
 ヒ海防埠頭軍事施設ニ對シ爆撃ノ際不幸野戰倉庫
 ノ第一倉庫（地積セツハ平方米ニシテ内ニ事務室ヲ有ス）
 ハ直撃ノ彈數發（破壞彈燒夷彈六七發ト推定スル
 地不詳）ノ命中ニ依リ一瞬ニシテ火災ヲ生シ全燒セリ
 當時下士官六名ヲ事務室ニ監視シ爲殘置シ全員昼
 食ノタメ兵舎（事務室ヨリ五十米）ニ在リテ食餌中突
 如トシテ聽ク飛行機ノ爆音ト共ニ忽チ起ル爆彈ノ炸裂
 フ耳ニシ敵機ニヨル空襲ナルヲ察知シ倉庫長ハ直チニ全
 員ヲシテ朗署ニ就カシムヘク倉庫現場ニ急派セシメタリ
 一方分任官入重田少尉ハ下士官一ト共ニ金櫃ヲ察シ之
 カ搬出ノ爲事務室前ニ馳セ參リ時既ニ事務室ハ爆彈
 ノ直撃ヲ受テ其ノ屋根崩壞シ入口窓共ニ壁体ノ倒潰ニ依
 リ封鎖セラレ室内ハ燒夷彈ノ命中ニ依リ一面ニ火災ヲ生シ

火勢物凄シ最早接近ヲ許サス 又被害直前事務室ニ在
 リタル下士官ハ爆彈ノ炸裂ヲ聽クヤ事態ノ凶ナラサルヲ感
 受シ吐嗟ニ先ツ分任官ノ机上ニ在リタル手提金庫及非常
 持出箱ヲ就鳥櫃ニトシ身ヲ以テ屋外ニ飛び出シ之ヲ安全
 地帯ニ收容直チニ列返シ金櫃行李ヲ救出セントセシモ
 前記ノ如ク事務室ハ瞬時ニシテ倒壊猛火ニ包マレアリテ
 手ヲ施スニ術ナク撤出ヲ断念スルノ止ムナキニ至ル然
 シ共各種ノ手段ヲ盡シ金櫃附近ノ消火ニ努メニカ折悪
 シク水道ハ断氷時ナリシヲ以テ意ノ如クナラス倉庫ト
 共ニ金櫃モ亦焼失スルニ至レリ
 當時河内ヨリ急派セシ師團經理部員元島圭計大
 尉立會ノ許ニ鎮火後之ヲ調査スルニ金櫃ハ爆碎セラ
 レ收容現金悉ク焼損シ前記ノ通亡失セシコトヲ確認セリ
 被害事實並見ノ動機

金櫃行李ハ皆日支拂、爲事務室ニ持込ニ使用中ニ在
 リテ内支拂準備用トシテ官金ノ一部ヲ手提金庫ニ分
 藏シ分任官一時離室ノ爲下士官ヲシテ之ヲ監視セシメ
 アリシカ本爆撃ニ際シ手提金庫ハ辛クシテ取出シタル
 モ金櫃行李ハ焼失スルニ至レルヲ以テ鎮火後現場ニ於テ
 調査ノ結果前記通亡失セシ事ヲ確認セリ、

六、被害ニ對スル處置

百方手段ヲ盡シテ之ヲ消火ニ努カメタルモ事態推移餘
 リニ急ニシテ遂ニ金櫃ヲ搬出シ能ハサリシハ甚遺憾
 ナリ、

師團經理部長ハ陸軍會計事務規程第九十五條ニ基キ
 直チニ検査員ヲ命シ帳簿、金櫃ヲ検査セシメタリ
 檢定書別紙ノ如シ

七、平素ニ於ケル金櫃管守ノ方法

八 別冊金櫃管守規定ニ依リ官入金ニ準シ取扱ヒ官入金ト
 同一入金櫃内ニ布袋ヲ以テ區分收藏ニアリタルモノトス
 責任者ニ對スル處置

金櫃ノ管守ハ確實ニ實施セラレアリテ且ツ戰況ト眞
 ニ止ムラ得サリシモノト認メ責任者ノ免責判決要求
 ニ對シ部隊長ニ於テ其ノ責任ヲ免除ス

九 其他必要ナル事項

ノ被害前日本野戰倉庫勤務兵ノ交代アリテ時恰モ
 新タニ勤務ニ就クコトトナリタル兵ノ宿舍收容ノ爲
 多忙ノ折柄西貢ヨリノ追送糧秣ノ卸下ニ任セシムル
 等兵員ノ都合ニ依リ日常晝食時ニ名ノ監視兵ヲ事
 務室ニ留メアリシニ當日ハ下士官一名ヲ監視ニ任セ
 シメタリ

又空襲警報ハ爆撃後ニ發令セラレタル爲事前ノ

0195

處置ヲ講スルノ旨ナク被服糧秣等全倉庫ニ亘
リ被害ヲ蒙レリ

以上

昭和17年1月9日

共有金及櫃檢定書

第十一師團海防野戰倉庫

借 円	科 目	貸 円
	酒保資金	13,000.000
8,318.810	酒 品	
2,994.000	掛 賣	
	掛 買	898.220
4,585.410	現金(通貨非)	
15,898.220	合 計	15,898.220

本帳定書現金整理簿片金額ニテ全部古欠セシメトス
 第十一師團海防野戰倉庫共有金保管委員陸軍少尉金日恒

昭和17年1月9日検査了検査員陸軍少尉元島浅松
 第十一師團經理部員

2610

別冊

第三師團海防野戰倉庫金櫃管理規定

倉庫金櫃



第三師團海防野戰倉庫金櫃管守規定本冊
通定△

昭和十七年八月一日

第三師團經理部長 三浦信一

第三師團海防野戰倉庫金櫃管守規定

第一條 本規定ハ戰時經理部勤務令第五十三ニ依リ第三師團海防野戰倉庫出納官吏ノ金櫃管守ノ方法ニ関シ規定ス

第二條 前渡資金及其他ノ公金ハ之ヲ金櫃行李(駐留用)小口支拂等場合ニ於テ出納官吏自身ニ監守スル場合ニテ予提金庫ヲ用ヒテトテ得(ニ)收藏シ出納官吏管守ノ責ニ任ズルモノトス

第三條 金櫃ニ管守者ノ官氏名ヲ表示シ又別ニ出納官吏ノ寫眞ヲ衛兵所ニ保管シ行動間ニ在リテハ適宜布井ヲ附シ關係者ノ認識ニ得ル如クテ置クモノトス

第四條 金櫃開閉ハ出納官吏自ラ之ヲ行ヒ其都度出納

官吏ニ於テ封印ヲ為スモトス

第5條 金櫃行李ノ宿營及駐留間ニ在リテハ衛兵所ニ置

キ衛兵司令ヲシテ監守セシムルモトス

第6條 行軍間ニ在リテハ車輛又ハ馱馬ニ積載シ常ニ護衛

兵ニ名以上ヲ附シ行李長等ヲシテ監守セシメ、
鐵道又ハ船

舶輸送間ニ在リテハ輸送指揮官ノ定ムル處ニ從ヒ所要ノ

監視兵ヲ附シ監守セシムルモトス

第7條 前2條以外ノ場合ニ於テハ常ニ2名以上ノ監視眼ノ下

ニ監視セシムル如ク處置スルモトス

出納官吏事務室ニ於テハ金櫃行李手提（手提金庫共）使用

中他出スル止メナキ場合ニ於テハ確實ニ監視者ヲ定メ置

クモトス

第八條 金櫃行李ヲ携行セザルカ又ハ衛兵并テ設置セザル場合
或ハ出納官吏ノ手許ニ置ク必要アル場合ニ於テハ自ラ之ヲ
保管スルモノトス

但シ右ノ場合ト雖モ金櫃行李ニ對シテハ護衛ヲ附シ監守ノ
萬全ヲ期スルモノトス

第九條 金櫃監守者ハ出納官吏以外ノ者ニ金櫃行李ヲ交付
シ又ハ之カ開閉ヲ爲サレハカラス

第十條 金櫃監守者ハ常ニ金櫃ノ外側其他異常ノ有無ニ注
意シ若シ異常ヲ認メタルトキハ現況ノ儘速ニ出納官吏ニ通
報スルモノトス

第十一條 監守者ハ火災其他非常ノ場合ニ際シテハ所要ニ應ジ臨
機ニ處置ヲシテ之ヲ後速ニ倉庫長並ニ出納官吏ニ通報スル

モノトス

第十條 金櫃授受ノ確實ニ具ツ之カ責任ノ限界ヲ明瞭ナラシ
ムル爲メ左記ニ依リ別紙様式ノ金櫃授受簿及金櫃
受領證ヲ使用スルモノトス

記

一 海防駐留中平常場合ニ於テハ別紙様式第一授受簿ヲ
使用スルモノトス

二 作戦行動間等ニ於テ上下番衛兵司令又ハ衛兵司令ト行李
長相互間ニ於テ授受ハ別紙様式第一授受簿ニ依リ外授
領者ニ交付者ニ對シ別紙様式第二受領證ヲ交付スルモノトス
三 受領者ハ引継受後直ニ出納官吏ノ許可ヲ授受シ旨ヲ
通報スル金櫃授受簿ニ出納官吏ノ認印ヲ受ケ金櫃ト共
ニ之ヲ保管スルモノトス

以上

第1號

第1號	金櫃受領證		第1號	受領証控
年月日	昭和17年8月1日 15時15分		昭和17年8月1日 15時15分	
受領場所	於海防何々		何個皇 號	
受領個數	交付者	受領者	交付者	受領者
至 自 第 號	陸軍軍曹 何某殿	下番衛兵司令 陸軍軍曹 何某殿	陸軍軍曹 何某殿	下番衛兵司令 陸軍軍曹 何某殿

受領者
刺印

切取線

0204